

■ 1984年 8月20日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

■ 発行人

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

定価100円

KSKP
NO.103

施設のなかの ぴかっとアート!



作:湖南ホームタウン
『おもしろ活動』参加者による作品

新年会のお鍋パーティーの
イベント用のポスターを
皆で楽しく作りました。

CONTENTS

- 2 特集**
法人の基本理念Ⅱ
「私たちの行動原則」を定めました
- 4 お知らせ**
療育キャンプを開催しました
肢体不自由児者とともに考える防災避難のための学習会
- 5 レポート**
第51回 近畿肢体不自由児者福祉大会 兵庫大会
文化祭開催レポート
- 6 インフォメーション**
湖北タウンホームの「お地蔵様」の祠を改築しました
Dr.植松のQ&A「ノロウイルス」
- 7 トピックス**
<地域貢献活動>
心あたたかで、地域に愛される集団をめざして
縁の下の力持ちサン
- 8 障害者権利条約ってなに?**

題字 酒井雄哉大阿闍梨

かいつぶり
エッセイ

かいづりエッセイ

VOL.38

「面白い」ということ

もう20年以上前になりますが、京都の盲学校で狂言をさせてもらいました。体育館いっぱいにすわっている生徒さんたちは、もちろん目の不自由な人ばかりです。

狂言というのはお芝居ですから、舞台上に2人とか3人とかの人物が登場し、さまざまな演技をします。セリフのような、耳からの情報だけではありません。物語の進行にともなって、舞台上でも互いの位置を変え、近づいたり離れたり、手を上げたり跳んでみたり道具を使ったりと、次々に動きが変化します。この狂言を、どんな具合に味わってもらえるのだろう? …と、始まる前は不安でいっぱいでした。でもそんな心配は、僕たちの勝手な思い過ごしだということがすぐに分かりました。ここという勘どころでは、みんな大声で笑ってくれます。

そのかわり、登場人物の移動に合わせて、客席の顔がいっせいに追いかけてきます。顔の正面でなく、耳で動きをとらえてくれるためでしょうか、ひとりひとりの顔が小さなパネルのようにこちらを向いてくるので、一瞬、客席が白くなったように感じて、どぎまぎてしまいました。顔が白いということを、そのときつくづく感じました。

むかし、天照大神という太陽の神様が岩穴に閉じこもり、世の中が真っ暗闇になるという事件がありました。日本中の神様が岩穴の前に集り、天照大神の再来を願ったのですが、天照大神がふたたび現れたとき、太陽の光が神々を照らして、顔が白く輝いたそうです。顔のことを、面(おもて)とも言います。面が白く輝く…というところから、「面白い」という言葉が生まれたそうです。

盲学校の生徒さんたちの、期待に満ちてわくわくしながら演技を追いかけてくれる顔の白さを感じて、この古い神話を思い出していました。

エッセイストプロフィール

狂言師
松本 薫さん
まつもと かおる



1951年生まれ。十二世 茂山 千五郎(現 四世千作)の芸に惚れ入門を決意。1974年、立命館大学在学中に十二世茂山 千五郎(四世 千作)に入門。23歳の時、狂言『瓜盗人』のアドで初舞台。1984年には、同門の網谷正美と丸石やすしと共に「三笑会」を結成。2011年まで、年5回の「狂言三笑会」(発足当時は「狂言勉強会」)を開催してきた。トレードマークの〈笑い顔〉と親近感溢れる舞台でファンの心をつかみ、師 千作を永年の目標としながらも日々自分自身の狂言を研究、精進を続けている。能楽協会会員、日本能楽会会員、京都能楽会会員、重要無形文化財総合指定保持者。

特集

法人の基本理念II 「私たちの行動原則」を定めました。

社会福祉法人滋賀県障害児協会は発足から20年を迎え、国内の人口減少や世相の変化などを受けて、基本理念の見直しに取り組んできました。今回の特集では、昨年秋の理事会で採択された新しい理念「基本理念II」について、ご紹介します。

これからの20年に向けて

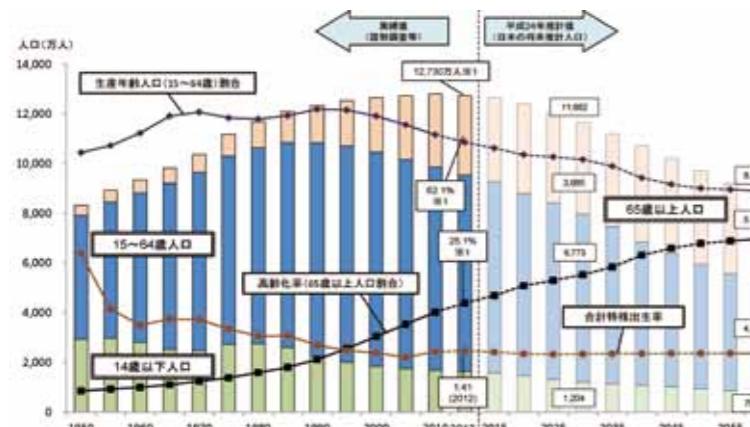
1996年、社会福祉法人滋賀県障害児協会の発足に際して以下の基本理念を定めて、20年を過ごしてきました。この理念はどの時代にも適合する、良い理念だと自画自賛しています。

ところが、近年の社会の変化は極めて激しく、アイスホッkeesティック（最初は変化がないように見えても、あるところから変化のカーブが急勾配になる）曲線のように見えなくもありません。

また、わが国の人口変動が、江戸時代末期以降急激に増加して150年ほどで当時の4倍を越えましたが、2010年からは、あたかもジェットコースターが頂上を越した時のように、急激な減少局面に入りつつあります。

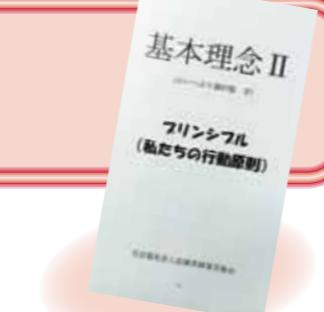
さらには、世界の政治情勢も激変の様相を呈しつつありますし、国内でも相模原事件ばかりではなく、あらゆる面で読み取りが難しい世相になりつつあります。素人目で見ましても、これまでの20年とこれからの20年は大きく異なることが予測されます。

そのため、1年をかけて基本理念の見直し作業に取り組み、昨秋の理事会で新しい理念（基本理念II）を採択しました。現在は、主要な職員から順にレクチャーを進めています。



日本の人口の推移(資料)

2060年には総人口が9000万人を割り込み、高齢化率は40%近い水準になると推計されている。
総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)：出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口) 厚生労働省「人口動態統計」
※1 出典:平成25年度 総務省「人口推計」(2010年国勢調査においては、人口12,806万人、生産年齢人口割合63.8%、高齢化率23.0%)



社会福祉法人滋賀県障害児協会
理事長 乗光 秀明さん

旧理念との違い

旧理念は、価値中立的な概念でまとめられています。つまり、どのような時代になんでも通用する言葉が使われています。しかし、近年の変化は、このような中立的な捉え方を許さない激しさを感じます。そこで、新理念では、

- ①私たちはこのように進むんだ、という「思想=思考の前提」を明確化し
- ②その上で、今後の20年先の「ゴール」を予測して
- ③そのゴールへ向かうための「行動原則(プリンシブル)」を定めました。

つまり、私たちはこのようなあり方を望んでいるという意思表明です。そして、旧理念を「基本理念I」として残した上で、新しい理念「基本理念II」を上乗せすることにしました。

基本理念IIについて

1 前提

- 1 活動セクター:公共、互助、市場のベストミックス
- 2 人間の欲求軸:質的な存在欲求の実現を活動基軸に
- 3 基本的な戦略:社会関係知的資本拡大に向かう戦略

2 ゴール(20年後に向けた長期目標)

- ①住み慣れた社会で
②気の合う人と共に

- ③生きがいをもって
④望まれつつ生きる

3 基本理念IIの本文 =プリンシブル(行動原則)

3 基本理念IIの本文 =プリンシブル(行動原則)

- ①利用者の運営参加
②働く人々との合意
③市民自治への参画

- ①構成員としての自覚
②共益的な価値の推進

参加 共働 コミュニケーション

- ①誰とでも共働
②男女共働徹底
③社会との共働

- ①ゆるぎのない信念
②多様性の受け入れ
③近接分野への拡張
④耐え抜く法人経営

今後の取り組みなど

本紙が刊行される頃には、法人傘下の各事業体(法人本部、湖北タウンホーム、湖南ホームタウン、クリニック・診療所)において、長期計画に基づく5年刻みの中間計画の策定作業が進められている最中になります。年度末の理事会では、次年度の事業計画の前にこの中期計画が審議されることになっています。

そして、この基本理念IIも、基本理念Iと同様に、法人の役職員はもとより、サービスの利用者様、ご家族、ボランティアの皆様方、出入りをしていただいている業者の方々にも遵守・尊重をお願いするものになります。

※基本理念IIに関心をお持ちいただいた方は、解説書(A4サイズ64P)がありますので、乗光まで電子メールでご請求下さい。お送りさせていただきます。



お知らせ

療養キャンプを開催しました

■日時 2016年10月29日(土)～30日(日)
 ■場所 こんぜの里栗東「森遊館」

秋晴れの中、すがすがしい2日間となりました。昨年同様、栗東市「こんぜの里」での開催でしたが、今年は「森遊館」を貸し切りで使わせていただくことができ、素晴らしい眺望のもと、終始気楽で伸び伸びとした雰囲気となりました。プログラムは、リハビリが主体となった活動(ボイタ・作業＆ミュージックケアのコラボ)の他、音楽療法や腹話術、夕食後はハンドアーチェリーと内容満載で、子供たちの笑顔が絶えませんでした。スタッフには大学生ボランティアも多く、参加者同士だけでなく、スタッフ・参加者間にも密な交流が印象的でした。ご兄弟はじめご家族でのリピーター参加が多く、あらためて療育キャンプの意義を考えさせられる機会ともなりました。

(湖北タウンホーム リハビリ科 山口敦子)



肢体不自由児者とともに考える 防災避難のための学習会

■日時 2016年11月26日(土)10時～
 ■場所 草津市民交流プラザ

はじめに東日本大震災や熊本地震の現地で支援に当たられた認定NPO法人「ゆめ風基金」理事の八幡隆司さんの講演を聞き、後半はグループに分かれて避難所運営シミュレーションを体験しました。

メディアから得た情報ではなく、避難の現場を体験した方から直接聞くことができ、様々な問題点を知ることができました。

とくに避難所運営シミュレーションは学校の図面を見ながら受付をどこに設定するか、体育館内の通路はどう作るか、様々なタイプの要支援者にどう対応するのか等々難しい課題に四苦八苦。現実の被災地はどれだけ混乱しただろうかと想像が追いつきませんでした。

障がいのある家族を持つ私たちは被災時を想定し、あらゆることをシミュレートして、持ち出す物の準備をしておく必要があることを再認識しました。

まずは当会として会員の安否確認や避難所について話し合い、要望を行政に伝える等々、できることからしていきたいと思います。

(草津市肢体不自由児者父母の会 西川さゆり)



レポート

第51回 近畿肢体不自由児者福祉大会 兵庫大会

開催日時／2016年10月22日(土)10:30～15:00 開催場所／神戸市立勤労会館7階 大ホール他

今年度の近畿大会は、「誰もが普通に暮らせる共生社会の実現」をテーマに掲げ開催されました。

開会式の後、「障害児者と災害時の支援について」と題し、人と防災未来センター 主任研究員 高田洋介氏を迎えての全体講演会がありました。

阪神・淡路大震災での経験を踏まえて、今後起こると予想されている南海トラフ地震における被害を想定し、当事者・当事者家族が行う防災への具体的な備えについてお話されました。



▲第1分科会で講師を務める植松代表

が話し合う場面が多くみました。

昼食を挟んでの分科会は医療・住まい・教育3つの話題に分かれて行われました。

第1分科会は、植松潤治滋賀県肢連代表による「重度障害児者の医療のあり方」、第2分科会は、西宮市社会福祉協議会 常務理事 清水明彦氏による「障害者の住まいと日常生活のあり方」、第3分科会では、社会福祉法人わかたけ福祉会 理事長 河南秀和氏による「特別支援教育・就労のあり方」講演がありました。どの分科会でも、講演後の質疑応答が活発に交わされ、充実した内容となりました。

来年の近畿大会は、平成29年9月8日(金)～9日(土)の二日間にわたり、京都にて第50回全国肢体不自由児者父母の会連合会全国大会と併行して開催されます。

会員の皆さま、ぜひご参加ください。



▲開会式の様子

湖南ホームタウン 文化祭・創立記念式典

平成28年9月18日創立記念式典ならびに文化祭を開催いたしました。

今年は創立10周年であり、守山市長はじめたくさんの方が足を運んで下さいました。

10周年記念のイベントとして、利用者・職員オリジナルTシャツを作成したりマグロの解体ショーを行いました。マグロの解体ショーは普段なかなか見られない光景なのでみなさんとても喜んで下さいました。

ユニット発表、利用者・職員合同ユニット対抗レースで盛り上がり、最後は職員全員で『365日の紙飛行機』を手話を交えて合唱しました。勤続6年になる私も、10年間勤めてこられた先輩方と一緒に合唱しとても感動しました。

実行委員:石田日登美



湖北タウンホーム文化祭

第19回の文化祭が10月15日(土)に開催されました。天候にも恵まれ、日差しの良い一日でした。今年のテーマは『感謝～皆が幸せで居られることに～』です。腹話術、よさこい等のボランティアグループが来て下さり、大いに盛り上げていただきました。

食事はバイキング形式を採用し、施設内外で好きな物を召し上がりました。利用者様の希望を聞き取り、メニューを検討しました。以前に勤務していた職員や他の施設の方も来てください、懐かしい面々と笑顔で話される場面が印象的でした。

準備不足な点が多々ありバタバタとしてしまいましたが、無事に終わったのもご協力いただいたみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

来年は20周年になります。利用者様の中にはタウンホームが開所された当初からおられる方がいらっしゃいます。歴史を感じていただき施設、法人全体で盛りあげて楽しむたいと思います。

実行委員:宇都和輝



インフォメーション

湖北タウンホームの「お地蔵様」の祠を改築しました

平成9年4月に湖北タウンホームが開所して以来、正面玄関横において施設の運営をずっと見守り続けているお地蔵様。その祠は平成9年よりもかなり以前のものらしく、湖北地域の厳しい風雪で、この度いよいよ改築する運びとなりました。

さる11月には新たな祠が完成し、落慶法要を無事執り行いました。写真はその時の様子です。新たな祠は見てのとおり、一風変わった印象。お地蔵さんが安心してそして明るい雰囲気で過ごされることを願っています。

そして、施設だけでなく地域のみなさんの日々の暮らしあらしあかりと見守つていただきます。ぜひ施設にお越しの際には、お立ち寄りください。

湖北タウンホーム 所長 高山徹



▲2016年11月に行われた落慶法要の様子



▲一風変わった印象の祠です

Q ノロウイルスによる感染性胃腸炎が大流行しているそうです。感染性胃腸炎とは何ですか。どのようにすれば防ぐことができますか。

Dr.植松のQ&A



植松潤治先生プロフィール

湖北グリープクリニック 院長

日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医

日本リハビリテーション
医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業、平成8年同大学院卒業、医学博士。日本小児科学会、日本小児神経学会、日本リハビリテーション医学会、日本児童青年精神医学会、日本重症心身障害学会所属。介護支援専門員。

A

ノロウイルスは、冬季の「感染性胃腸炎」の原因となるウイルスですが、感染性胃腸炎は、多種多様の原因によるものを含む症候群であり、主な病原体は、細菌、ウイルス、寄生虫が原因の病原体となります。原因となる病原体のうち、ウイルスは、ロタウイルス、腸管アデノウイルス、そしてノロウイルスがあるため、ノロウイルスの感染者は、「感染性胃腸炎」の一部として報告されています。ですから、お医者さんで「ノロ感染ですね」と言われても、確定しているわけではありません。しかし、ノロウイルスの感染力は強いため、症状がある方の感染対策は重要です。

ノロウイルスは手指や食品などを介して、経口で感染し、ヒトの腸管で増殖し、おう吐、下痢、腹痛などを起こします。健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りなどでは重症化したり、吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡することがあります。ノロウイルスについてはワクチンがなく、また、治療は輸液などの対症療法に限られます。

従って、皆様の周りの方々と一緒に、次の予防対策を徹底しましょう。

- 患者のふん便や吐ぶつには大量のウイルスが排出されるので、
 - (1)食事の前やトイレの後などには、必ず手を洗いましょう。
 - (2)下痢やおう吐等の症状がある方は、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。
 - (3)胃腸炎患者に接する方は、患者のふん便や吐ぶつを適切に処理し、感染を広げないようにしましょう。アルコール消毒はありません効果がありません。ノロウイルスを完全に失活化する方法としては、次亜塩素酸ナトリウムに浸したり加熱による処理が必要です。
- 特に、子どもやお年寄りなど抵抗力の弱い方は、加熱が必要な食品は中心部までしっかり加熱して食べましょう。また、調理器具等は使用後に洗浄、殺菌しましょう。

詳しくは厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」を参照してください。
http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_ryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

地域貢献活動

心あたたかで、地域に愛される集団をめざして 喫茶 観光案内 地域サロン／就労継続支援B型事業所 ハーティーパーティー

虎姫駅舎内の空き店舗を利用して新規事業所をやってくれないか?と理事長より打診され、寝耳に水の思いながらも覚悟を決めたのが一昨年の12月。駅舎の中の店舗でどんなことをすればよいか白紙の状態からのスタート。まずは虎姫地域のリサーチからはじめ、虎姫再活性化に挑む「まちづくり虎姫」「虎姫地域づくり協議会」のメンバーのみなさんと協議を重ね、観光資源の開発、特産品づくりなどを提案。利用者が加工作業などを請け負える体制づくりを考えています。

店舗では喫茶・観光案内・地域サロンを柱として地元のみなさん、観光客の方、ビジネスマンが立ち寄れる場所として奉仕していくながら、利用者さんとともに働く場所になれば…と思っています。店舗のネーミングは『心あたたかな一団』でありたい、『地域に愛される集団』でありたいとの思いから「ハーティーパーティー」と名付けさせてもらいました。コンセプトは「地域の中で楽しく暮らす」。湖北THの就労支援B型事業所としての申請が通り、本年初頭よりようやくスタート地点に立つことができました。10月より新メンバー2名とともに喫茶・観光案内所として先行オープンしています。今後とも、応援よろしくお願いします。

(室長:梅景淳一)



▲JR虎姫駅の「プラザCOCO内」に事業所をオープン。

店の柱は喫茶・観光案内・地域サロン。



▲モーニングセット(380円)

縁の下の力もちサン



寄付金

【湖北タウンホーム】 岩口由紀、松田功、乗光秀明、伊藤幸子、川添喜美恵、高橋敏彦、虎姫赤十字奉仕団、山中賀子

【湖南ホームタウン】 フローレンス文庫、小島小百合、津田貞子、太田千恵子、林美子、

守山市観光ボランティアガイド協会 代表 石田和正、守山市身体障害者連合会、武宏平、青木えい子、林田博惠、特定非営利活動法人 音楽療法の会 さざなみ、川添喜美恵、社会福祉法人ゆたか会 清湖園 施設長 伴英治、るりこう園 園長 山西辰雄、社会福祉法人 にぎやか会、特定非営利活動法人 守山弥生遺跡研究会 代表 田口一宏、松田智子、乗光秀明、中村宗寛、乗光三津子、北村孝、谷内すみ江、堤つね、辻ひとみ、認定特定非営利活動法人 びわこ農穀の郷、菱倉佳代、川那辺重次、ほたるの湯、清田雪路、株式会社 清原、清原健、S・Y・株式会社 みらいもりやま21、みらいもりやま21 宇野家、市民交流センター、中山道街道文化交流館、あまが池プラザMADANIS 岡田晋作

物品ご寄付

【湖北タウンホーム】 米澤とや子、田中佐喜枝、横山博志、中村やよい、古山富美子

【湖南ホームタウン】 善本平尾、山本昭宏、奥野喜久子、鈴木純子、川端哲志、北川英次(パン・菓子)、マナビ滋賀(活動材料)、介護アロマサロンWai(アロマオイル等)

ボランティア

【湖北タウンホーム】 伊藤ゆきゑ、赤井淑子、古脇慶子、横山博志、西川桂子、野沢真喜子、草場田佳子、古山富美子、村地司、藤井恵美、米田礼子、デルロサリオ恵美、國友強、田邊太美雄、山田文子、岸田健、木村彩夏、永井忠穂、知念穂津美、北川美由紀、高宮和代、小寺満智子、西川衛、小寺光輝、米田静江、北村マサエ、高宮美菜子、浅見美穂、福原こころ、片上佑莉佳、牧元和美、中村明子、中島たつみ、松岡孝子、山路詔子、廣田裕子、嶋崎華奈、佐治亞弥香、寺澤和馬、長浜老人クラブ連合会虎姫支部、赤十字奉仕団虎姫支部、虎姫民生委員、たけとり座、天舞賤ヶ岳、青い鳥、長浜ギター マンドリンアンサンブル、ハンドマッサージ「和」、コスモス、モデラート、うぐいす会

【湖南ホームタウン】 吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会ボランティア登録者、車椅子レクダンス矢車草の会 マナビ滋賀、レイカディア大学34・35・38期生、青人草 守山健康マージャン「すこやか会」近代大正琴なごみ会 ききょう、森田孝子、村山晴美、吉岡信子、飯田勝栄、大江末子、茶谷正子、樋口操子、宮川明子、菅原常夫、芝田規子、津田貞子、林田博惠、山田豊子、小窪紀枝、寺井美耶、美濃部文化、林皓子、大倉ミヤコ、饗庭夏生、中野由美子、吉田佐代子、濱邊未歩、森井孝一、澤九麻男、龍谷大学ボランティアセブトクルール、佛教大学ボランティアサークル、クラブアトラクション、ボランティアサークル「えみちこ」、男性ボランティアの会G.A.G.ドリーム18会、男性シニアグループうり坊の会、楽々20、キラッと22、チューリップ23、虹の会24、2525会、未来への糸26

よろしくお願いします。
父
母
の
会
事
務
局
ま
で
書
き
損
じ
ハ
ガ
キ
が
ござ
い
ま
し
た
ら
、
よ
ろ
しく
お
願
い
し
ま
す

障害者権利条約ってなに?

シリーズ第29回目 わたしのこと、待ち望んでくれてましたよね?!

イラスト:るーしー小林

障がいと共に、様々な権利を持ち、生まれてくる子どもたち。氏名、国籍を有する権利。広い意味で、第17条にも表される、その心身がそのままの状態で尊重される権利。とても強く、尊重されるべき権利と尊厳あるいのちです。

親は、つかわいい、かわいいと庇護や愛玩の対象として児童を見てしまうことがあります。ひとりの尊ぶべき存在だと認識を改め、どう向

き合っていくのか、共にどう生きていくのかを考えなくてはならないでしょう。



障害者権利条約から部分的に抜粋してご紹介します。

第18条 2項

移動の自由及び 国籍の自由についての権利 より

障害のある児童は、出生の後直ちに登録される。障害のある児童は、出生の時から氏名を有する権利及び国籍を取得する権利を有するものとし、また、できる限りその父母を知り、かつ、その父母によって養育される権利を有する。

滋賀県心身障害者扶養共済制度

この制度は、各都道府県が障がい者の保護者の相互扶助の精神に基づき、保護者死亡後の障がい者に終身一定額の年金を支給することにより障がい者の生活の安定と福祉の増進に資することを目的とします。加入者数は、口数ベースで、76,691人、年金受給者は、51,994人となっております。(平成24年度末現在)加入者・受給者の皆様、住所等の変更がありましたら、扶養共済窓口までご連絡ください。

扶養共済窓口

TEL:0749-73-3910 FAX:0749-73-3920



いつも元気でね健診



かいづり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。

お申込・お問い合わせはかいづり診療所まで

TEL:077-514-1715

編集後記

年が明け、かるた行事が催される神社が多々あります。

滋賀県の近江神宮はかるたの殿堂と称され、競技かるたの大会が盛んに開催されています。

多くの学生たちにとって百人一首と言えば、冬休みに出される『古典の宿題』というイメージが強いのではないでしょうか。私は小学校3・4年生の頃、当時の担任の先生がクラスの課題として熱心に百人一首の指導に取り組んでおられ、いつの間にか全部覚えたという経験があります。おかげさまで高校生になってから、冬休み明けの確認テストでは楽をさせてもらいました。

お正月の遊びと言えば、かるた遊びが思い浮かぶものの、小倉百人一首には直接お正月をお祝いする和歌はなく、幼いころは疑問に思ったものです。

先日かるた行事のテレビ中継を見て、久しぶりにかるたを取り出しましたが、自分が思っている以上に忘れてしまって、年月の経過を感じるお正月でした。(小川英美湖)

【編集人】

社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内

[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702

[URL]<http://www.open-mind.jp>

[E-MAIL]kaitsuburi@open-mind.jp

滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内

[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702

[URL]http://www.open-mind.jp/about_fubo/

[E-MAIL]info2005@open-mind.jp

■ 1984年

8月20日 第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 ■ 発行人

関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F

定価100円